

2021年2月期 第1四半期 決算説明資料

R P A ホールディングス株式会社
(コード番号：6572 東証第一部)



目次

01	連結業績ハイライト	P.2
02	成長戦略	P.15
03	参考資料	P.28



01 連結業績ハイライト

連結業績ハイライト①

ロボットトランスフォーメーション事業が牽引し、売上は前期比+46%伸長、RaaS事業の立ち上げに向けた先行投資0.8億円の計上により増収減益
2021年2月期の通期予算は順調に進捗

ロボットアウトソーシング事業

- 大手企業におけるRPA導入は一巡感があるものの、BizRobo!Basic、 BizRobo ! miniともに導入企業は伸長
- 一方で現状では限定的な業務での利用にとどまっている企業もあり、BizRobo!BasicからBizRobo ! miniへのダウングレード、パートナー企業経由での導入企業での一部解約、他社RPA製品の取り扱い中止で解約でストック収入は横ばい
- コロナウイルスの影響で受託型案件の受注が減少したことにより、減収減益

ロボットトランスフォーメーション事業

- コロナウイルスの影響により金融、通信カテゴリが大きく伸長し、売上高は前年同期比84%増、売上の拡大に伴いセグメント利益も伸長

RaaS事業

- 「RoboRobo」を中心に、引き続き事業開発等の先行投資を実施
- 「RoboRoboコンプライアンスチェック」、「RoboRobo与信チェックサービス」、その他人事、採用関連のサービスをリリース

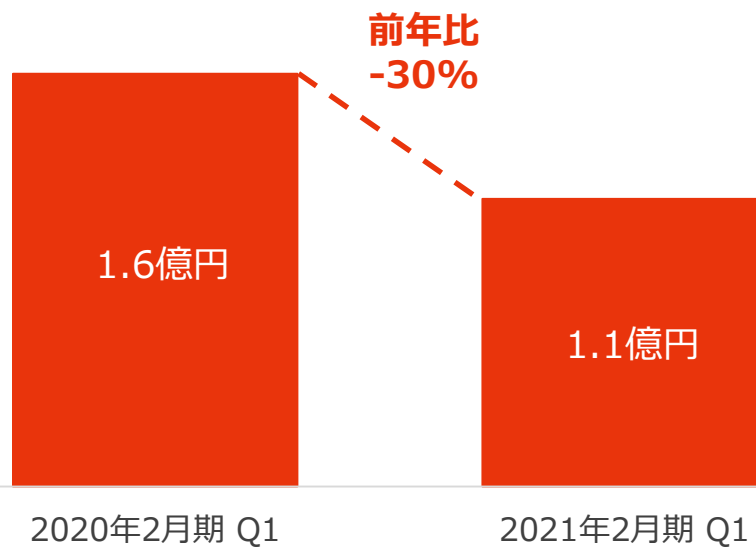
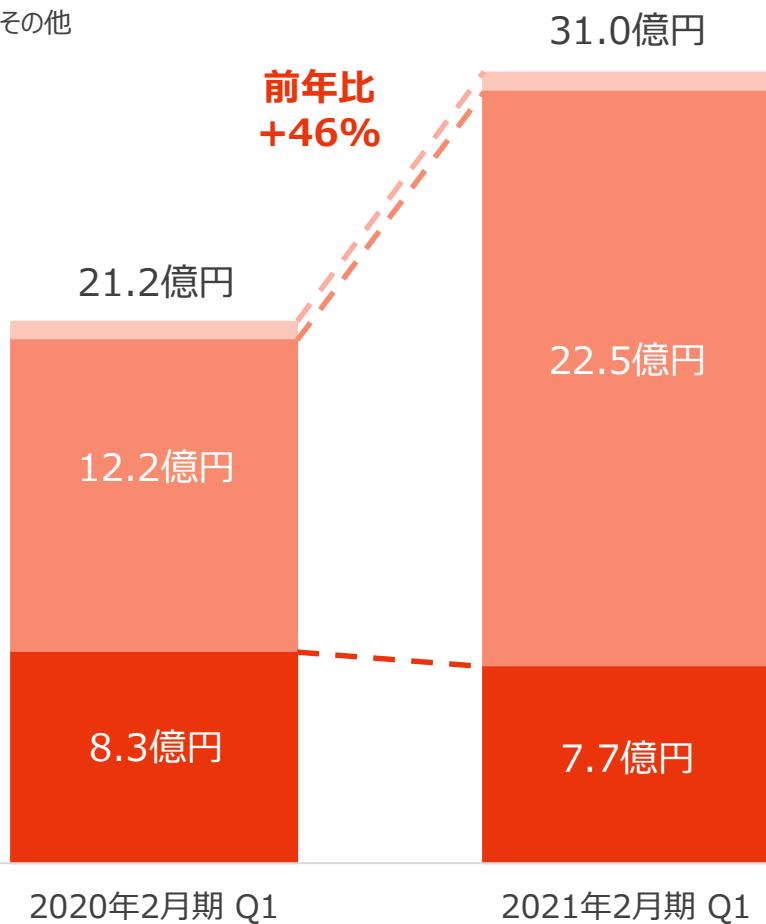
連結業績ハイライト②

- ロボットトランスフォーメーション事業が牽引し、売上は前期比+46%で伸長
- RaaS事業の立ち上げに向けた先行投資0.8億円の計上により大幅な減益

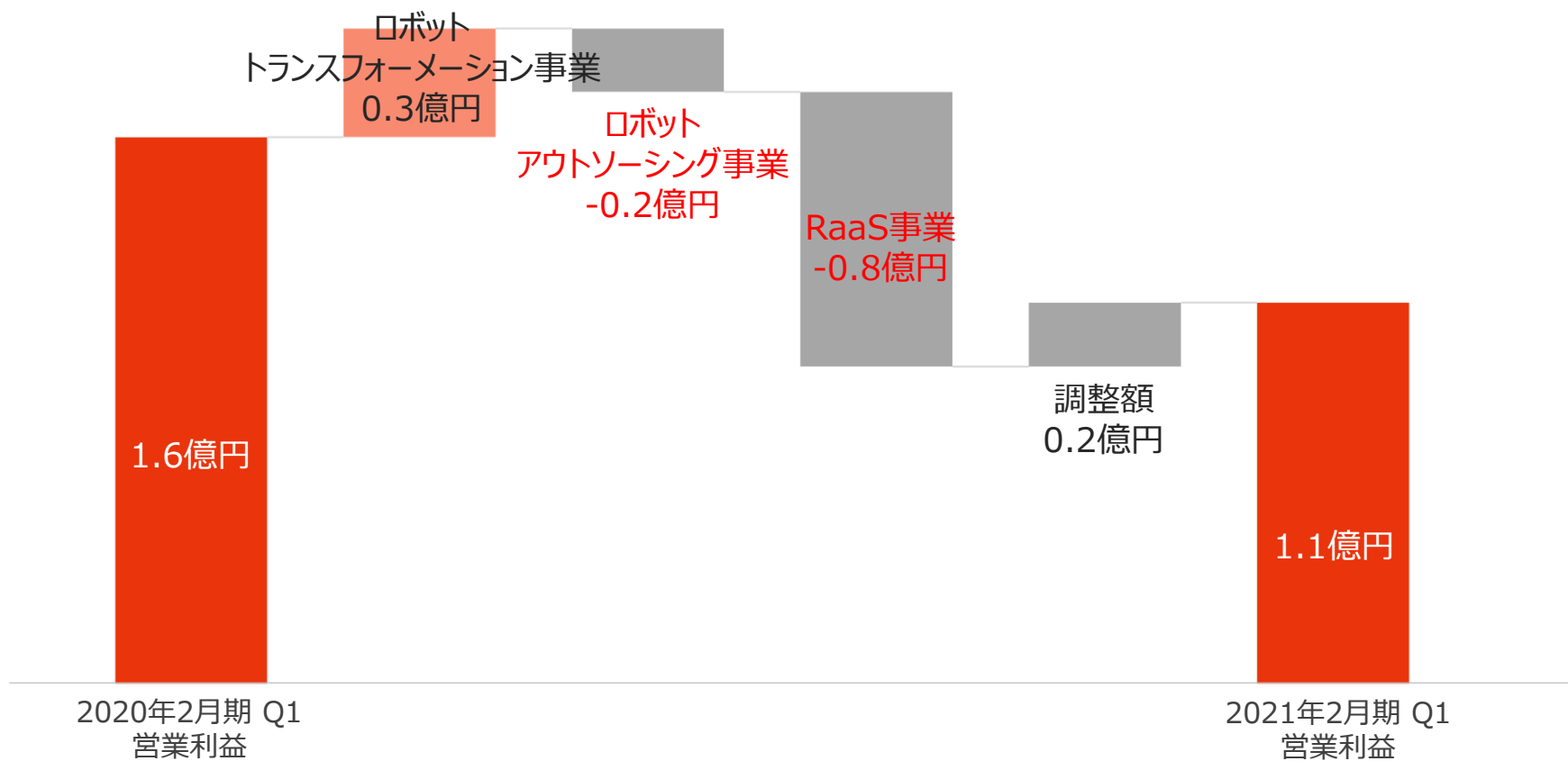
売上高

営業利益

- ロボットアウトソーシング事業
- ロボットトランスフォーメーション事業
- その他



連結業績ハイライト③ 営業利益詳細



連結業績ハイライト④：コロナウイルスによる影響

Q1

Q2以降

ロボット アウトソーシング 事業

- ✓ 経済活動の停滞、商談リードタイムの長期化により新規ライセンス導入企業が鈍化
- ✓ コンサルティング・エンジニアリング等の受託型案件の受注が減少

ロボットトランス フォーメーション 事業

- ✓ 人材採用活動の鈍化により、人材カテゴリはマイナス
- ✓ 証券口座開設増加により金融カテゴリ、リモートワークの普及により通信カテゴリが大幅に伸長

RaaS事業

- ✓ 事業開発フェーズであり、コロナウイルスによる影響は特になく、「RoboRobo」を中心に先行投資を実施

- ✓ 緊急事態宣言解除後、新規ライセンス導入企業は回復傾向にあるものの、コロナウイルスの長期化によっては引き続き新規受注の遅延、減少が続く可能性がある
- ✓ 顧客企業の外注費用の抑制によるコンサルティング・エンジニアリング等の受託型案件の受注の減少が引き続き想定される

- ✓ 金融、通信カテゴリの特需は落ち着くものの、引き続き順調に推移
- ✓ 人材カテゴリは引き続き慎重な見通し
- ✓ その他カテゴリは特段の影響はなし。引き続き順調に伸長

- ✓ 引き続き「RoboRobo」を中心に先行投資を継続
- ✓ オンラインでの販売、サポートが可能なモデルの為、特に影響はない

コロナウイルスへの緊急対応が企業の変革の契機となり、
デジタルトランスフォーメーションが急加速

事業拡大の機会

- ① 既存システムの自動化・リモートワークを目的としたRPAの活用が進展
オンプレミス、レガシーシステム、SaaS、紙帳票等の人・システム・業務間の連携ニーズが企業規模を問わず、あらゆる企業で進展・加速する
- ② DXの急加速に伴うDXツールとしてのRPA・AIの活用が進展
現場主導のBizRobo!の活用、AI連動による高度化
- ③ 非中核・非競争業務領域におけるBPO化が加速
コスト削減を目的に、ROIが明確なBPO化の流れが定着
Robot BPO『RoboRobo』、RPAを活用したBPO『事務ロボ』へのニーズ

コロナ後も、成果に応じた評価および報酬制度、リモートワークに引き続き取り組んでいきます。

- ✓ 当社の主力商品の1つである「BizRobo!」、そして様々なテクノロジー技術やITツールを活用し、フロント業務からバックオフィス業務まで高い生産性と高セキュリティのバランスを保ちながら業務遂行できる環境をベースとしたリモートワーク
- ✓ 「知恵とテクノロジーで新規事業を創造し、個性が輝く楽しい時代に進化する」をグループミッションに掲げ、全社員がオーナーシップを持って主体的に選択、行動できる働き方の提供、及び成果に基づく公正な評価制度
- ✓ コロナ後の進化した社会環境を見据えた人材育成、新規事業等への長期投資



緊急事態宣言に伴う当社グループの取り組みについて

2020.04.14

RPAホールディングス株式会社、及びグループ企業は、以前よりBCP対策を含めた働き方改革に取り組んでおり、緊急事態宣言を受けて当社グループで勤務する全ての従業員、家族、ステークホルダーの皆様の安全と健康を最優先に考え、完全リモートワークへ移行しております。

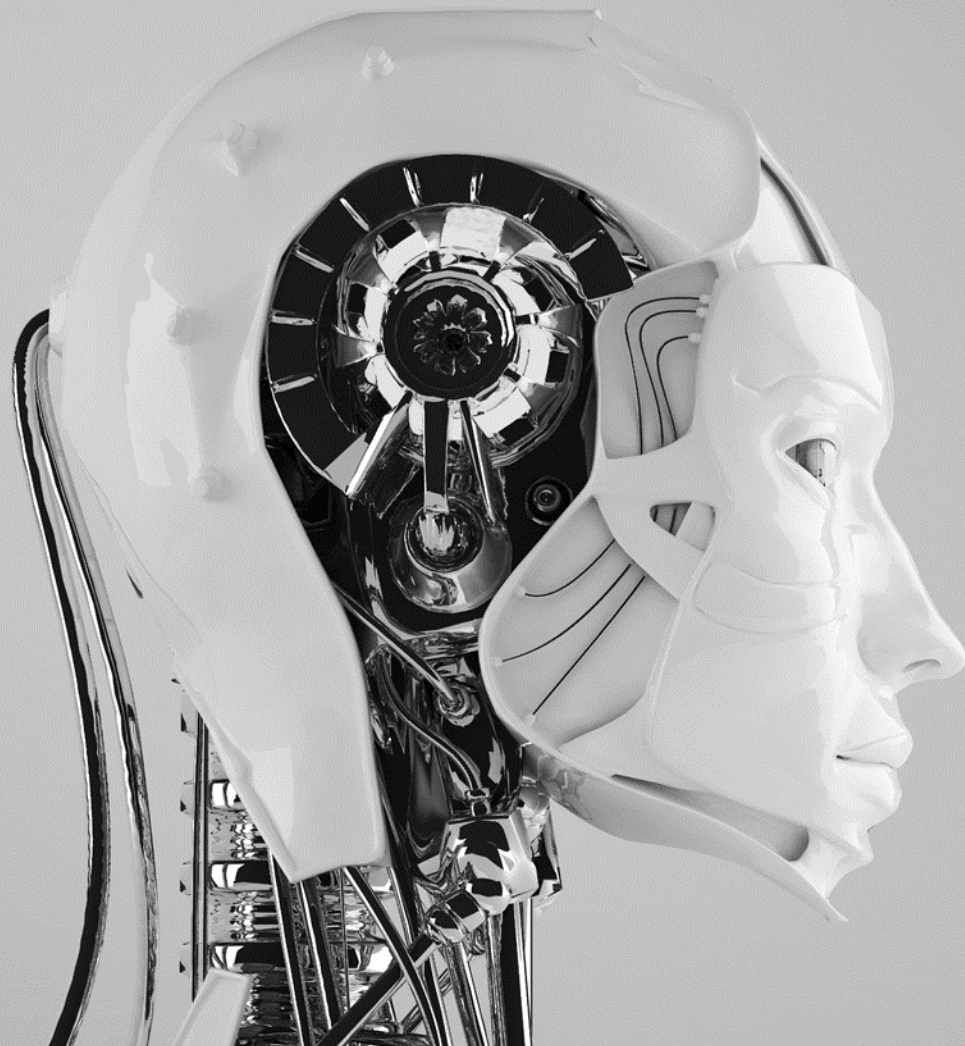
緊急事態宣言の発令、2020年4月6日に新オフィスへの移転を予定通り行いましたが、引越関連協力会社の方々のご尽力もあり、新オフィス移転直後からの完全リモートワーク移行後も混乱なく業務を遂行しております。

完全リモートワークにおける様々な課題に対し、当社の主力商品の1つである「BizRobo!」、そして様々なテクノロジー技術やITツールを活用し、フロント業務からバックオフィス業務まで高い生産性と高セキュリティのバランスを保ちながら業務遂行できる環境を構築しております。

また、「知恵とテクノロジーで新規事業を創造し、個性が輝く楽しい時代に進化する」をグループミッションに掲げ、全社員がオーナーシップを持って主体的に選択、行動できる働き方の提供、及び成果に基づく公正な評価制度を採用しております。

以下、当社グループでは、今回の新型コロナウイルスに端を発した緊急事態宣言下での働き方、更に今後のコロナウイルス問題が解決した後の社会の進化を見据え、下記の方針で取り組んでいく所存です。

1. 当社グループでの取り組み事例の無償公開、無料診断サービス
2. 当社グループサービスの無償提供
3. コロナ後の進化した社会環境を見据えた人材育成、新規事業等への長期投資



ロボットアウトソーシング事業ハイライト

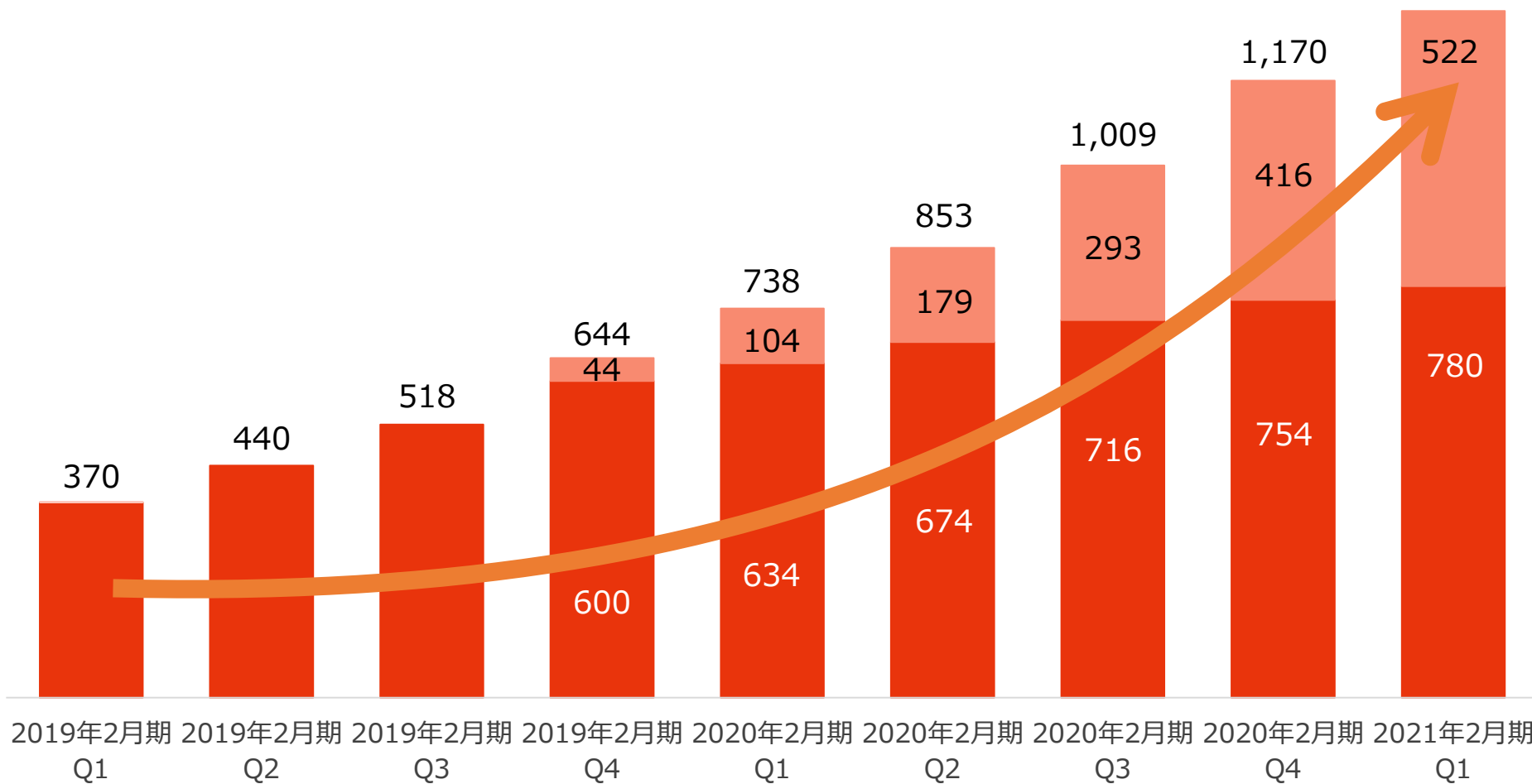
ロボットアウトソーシング事業ハイライト①

■ 2020年5月末時点で累計1,302社の企業に導入

1,302

■ BizRobo!Basic導入社数累計 (単位:社)

■ BizRobo!mini導入社数累計 (単位:社)

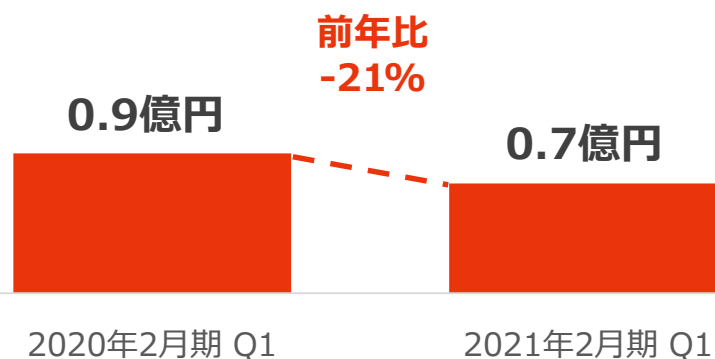
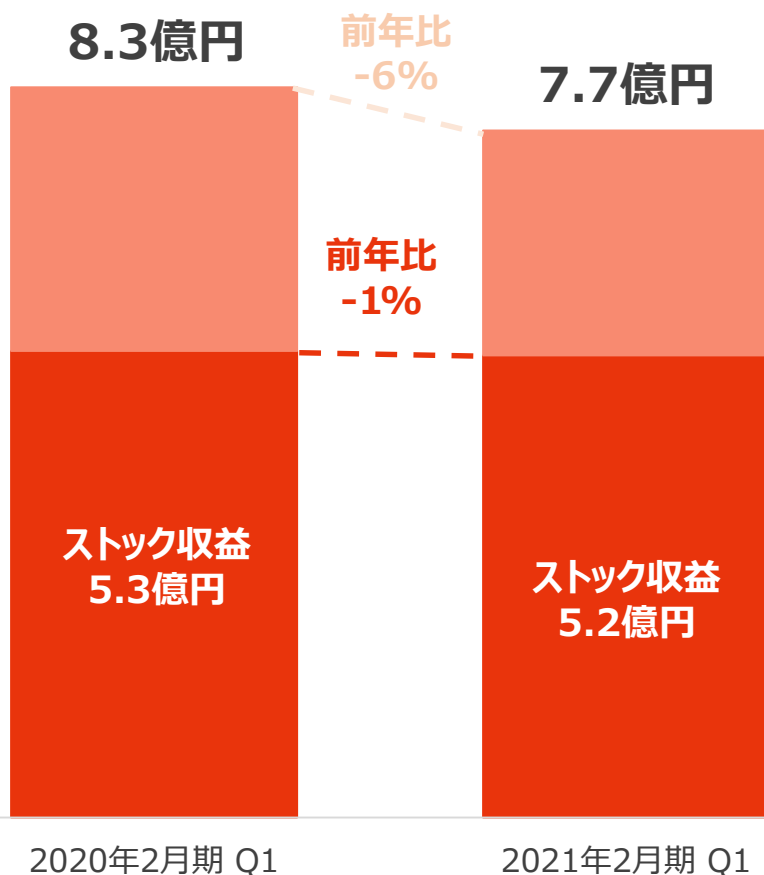


ロボットアウトソーシング事業ハイライト②

- 大手企業におけるRPA導入は一巡感があるものの、BizRobo!Basic、 BizRobo ! miniともに導入企業は伸長
- 一方で現状では限定的な業務での利用にとどまっている企業もあり、BizRobo!BasicからBizRobo ! miniへのダウングレード、パートナー企業経由での導入企業での一部解約、他社RPA製品の取り扱い中止で解約でストック収入は横ばい。
- コロナウイルスに伴う顧客企業の外注費用の抑制によりエンジニアリング、コンサルティング等の受託型案件の受注が減少したことにより、減収減益

ロボットアウトソーシング事業売上高

ロボットアウトソーシング事業セグメント利益



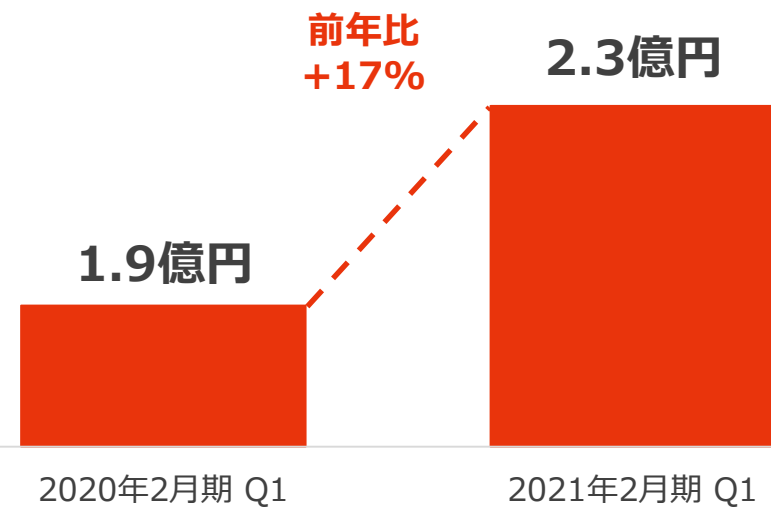
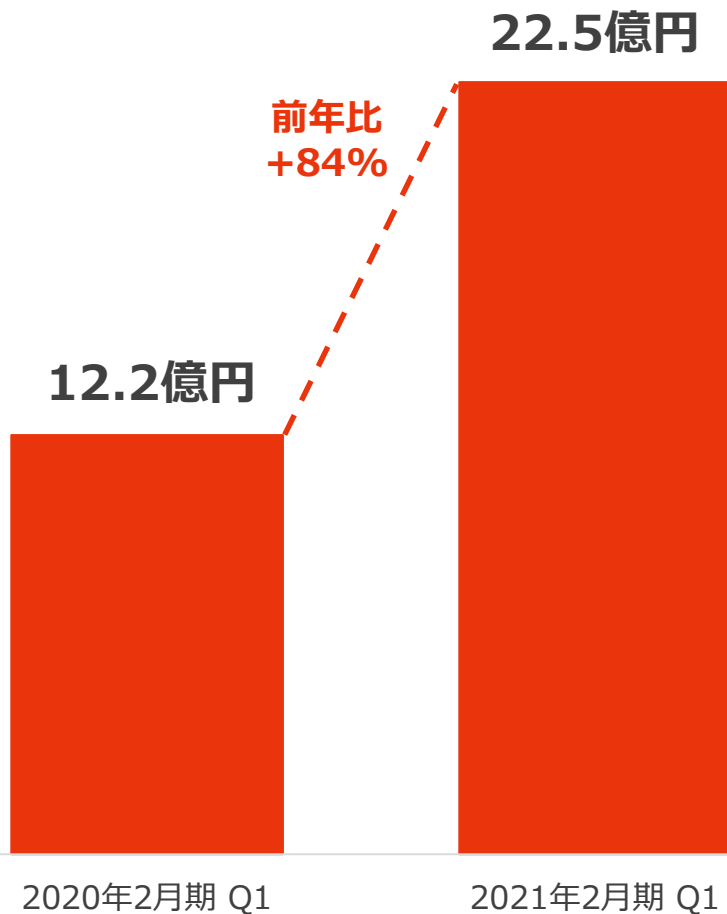
ロボットトランスフォーメーション事業ハイライト

ロボットトランスフォーメーション事業 ハイライト①

- 金融、通信カテゴリが特需で大きく伸長し、売上高は前年同期比84%増、売上の拡大に伴いセグメント利益も伸長
- その他のカテゴリも順調に伸長

ロボットトランスフォーメーション事業売上高

ロボットトランスフォーメーション事業セグメント利益

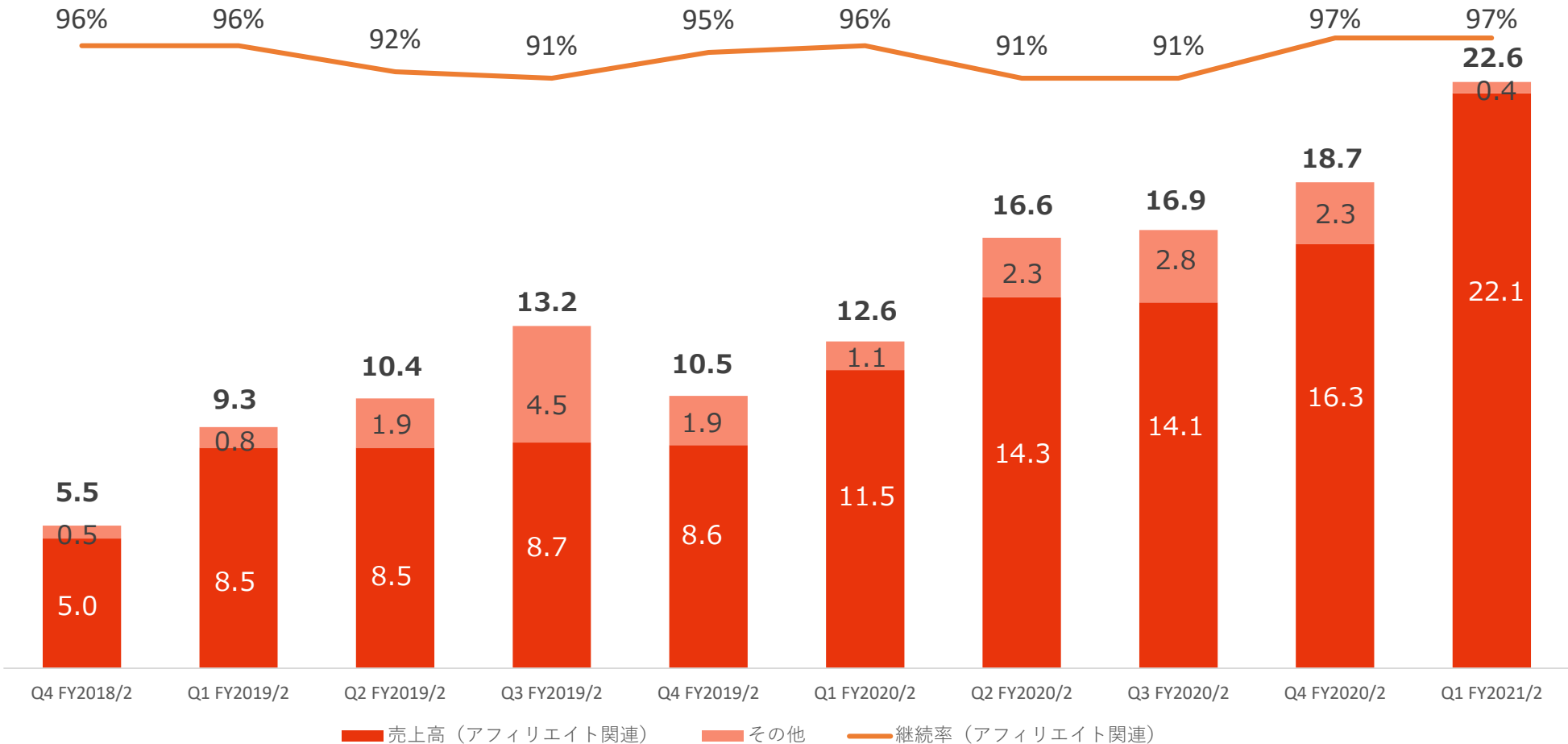


ロボットトランスフォーメーション事業 ハイライト②

■ ロボットトランスフォーメーション事業における広告主の継続率は安定して90%程度を維持

売上

単位：億円



注:

1. 継続率とは、前四半期末の広告主数に対して、当四半期において広告におけるクリックが1件以上発生した広告主の割合



02 成長戰略

RPA HOLDINGS

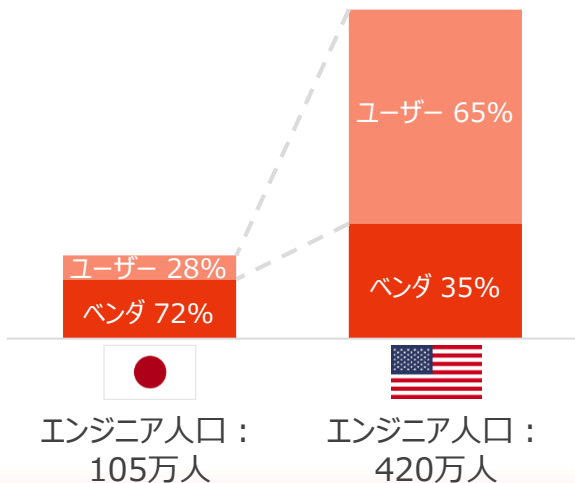
PLANNED	RUNNING
01:29:18	01:51:33
DOWN TIME	00:00:00
SETUP	00:30:21

PLANNED
Time In Planned Downtime
01:29:18

ロボットアウトソーシング事業 変化への対応：RPA/AI民主化の波に乗り成長

エンドユーザーにおける エンジニアの不足

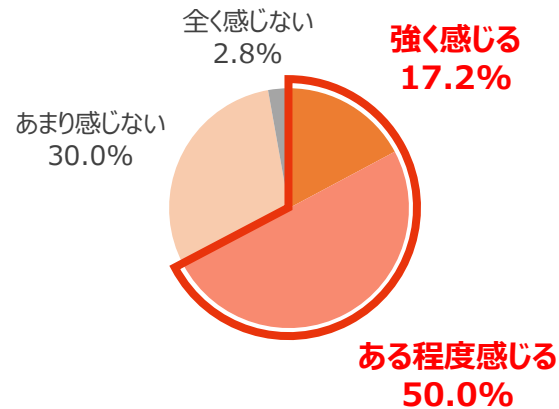
日米エンジニア人材の分布



出所：経済産業省「DXレポート」(2018年)

既存ITシステムへの不満

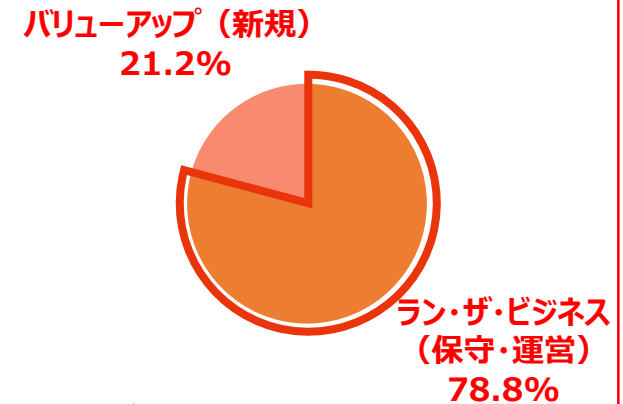
既存システムがDX（デジタルトランスフォーメーション）の足かせになっていると感じるか？



出所：経済産業省「DXレポート」(2018年)

日本企業のIT予算の大半は 既存システム維持に回されている

国内企業のIT予算配分（2016年度）



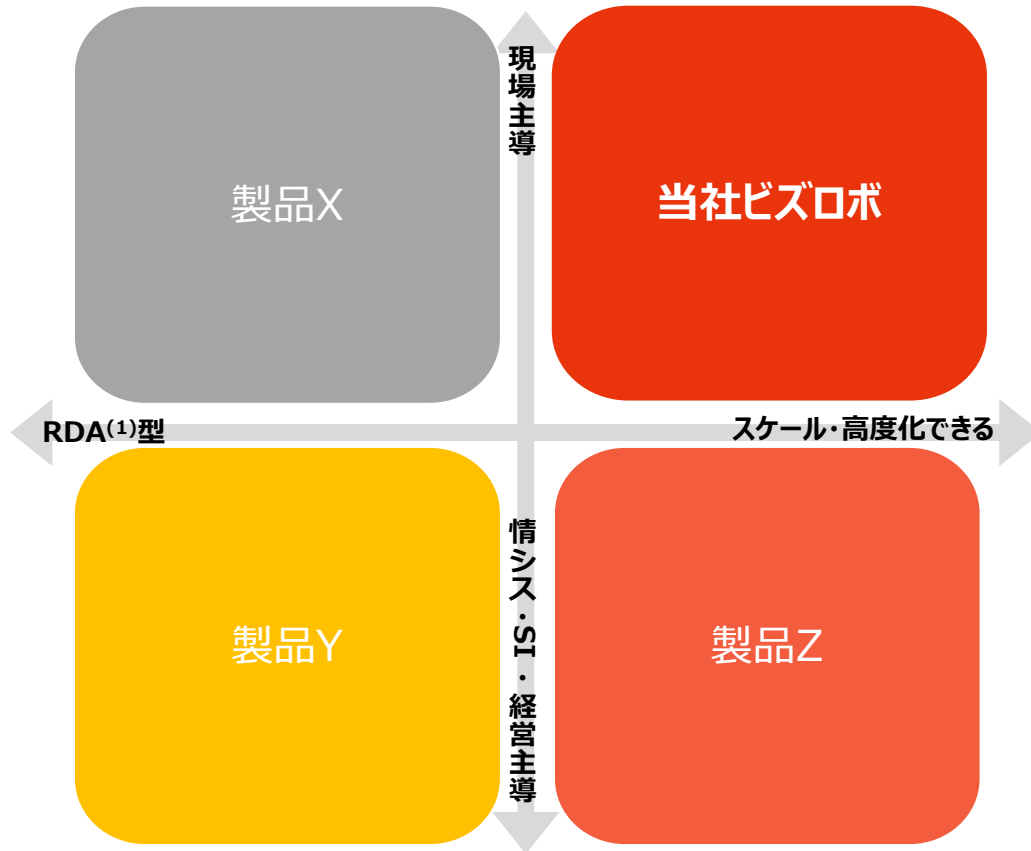
※バリューアップ：新たな付加価値を生み出すためのIT投資
ラン・ザ・ビジネス：既存システムの維持・運営のための保守費用

出所：経済産業省「DXレポート」(2018年)

エンジニアでなくても、低コスト且つ短いトレーニングで現場へ導入可能な
日本独自のRPAが市場から強く求められている

当社のポジショニング

- 現場主導の日本型RPAとスケール・高度化可能なソリューションが強み



- ✓ コーディング不要。ビジネス現場のためのテクノロジー
- ✓ AIなどロボット能力拡張に最適なプロダクト
- ✓ 合理的にスケールしやすいアーキテクチャーと料金体系

注:
1.Robotic Desktop Automation

ロボットアウトソーシング事業の 更なる進化・深化

a

パートナー戦略の
更なる強化による
ユーザーベースの拡大

b

カスタマーサクセスの
更なる強化による
ロボット活用の定着、拡大

c

ロボット高度化による
既存アカウントにおける
アップセル



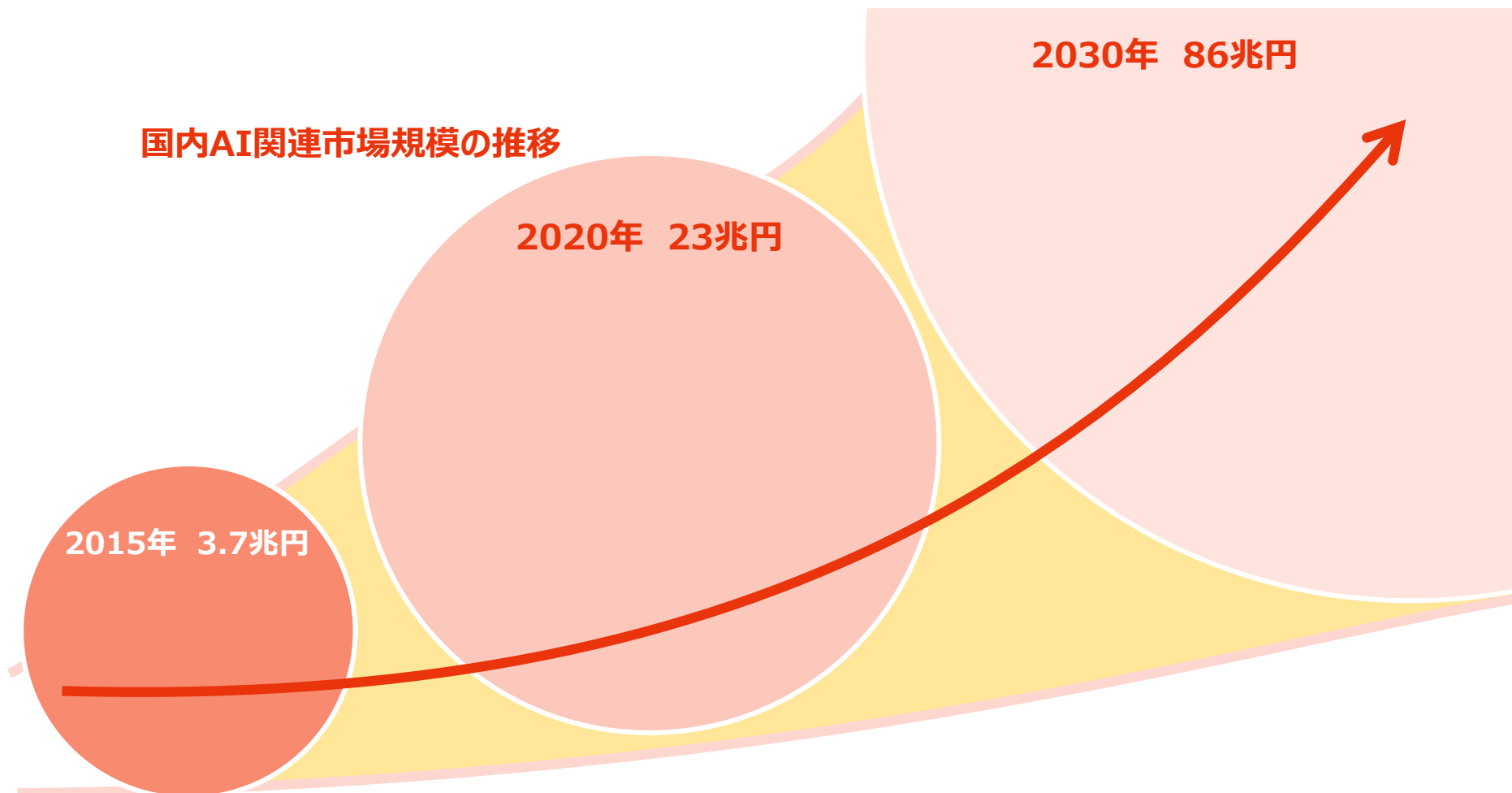
RPA
HOLDINGS

ロボットトランスフォーメーション事業

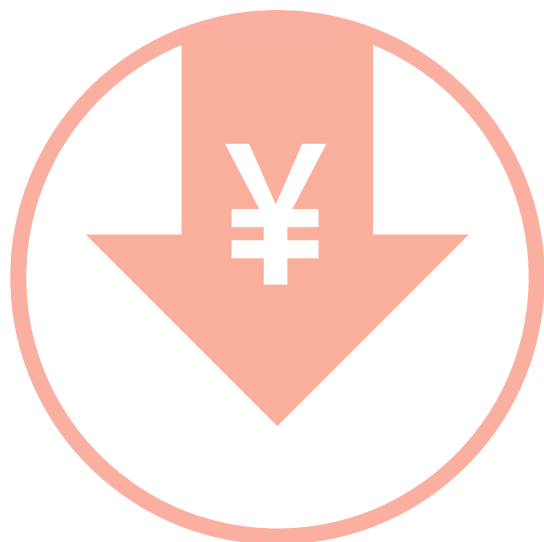
産業の再定義

巨大で豊富な潜在事業機会

- 人工知能関連市場規模は、2030年には86兆円まで成長する見込み

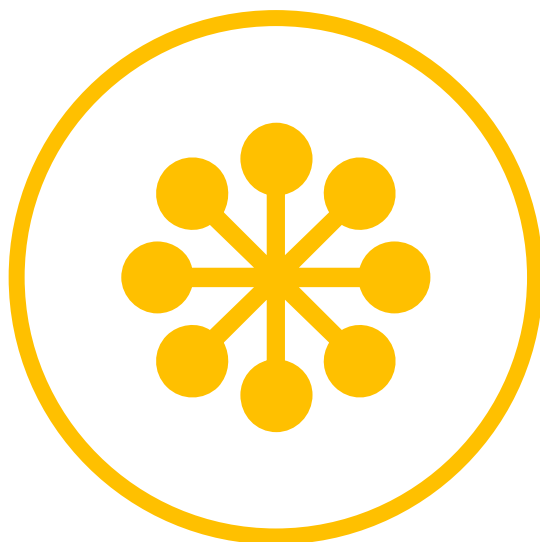


低資本



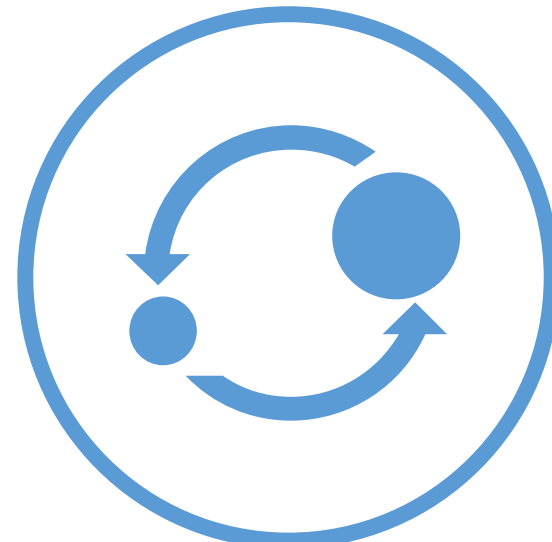
RPAのライセンスやエンジニアリングネットワークといった外部リソースの効率的な活用及びノウハウを保有しているため、すべて内製化するケースに比べて圧倒的な低コスト化を実現

テクノロジー



ロボットアウトソーシング事業で培ったAIを利用した高度なテクノロジーと内製化されたエンジニアリング能力が強み

方法論

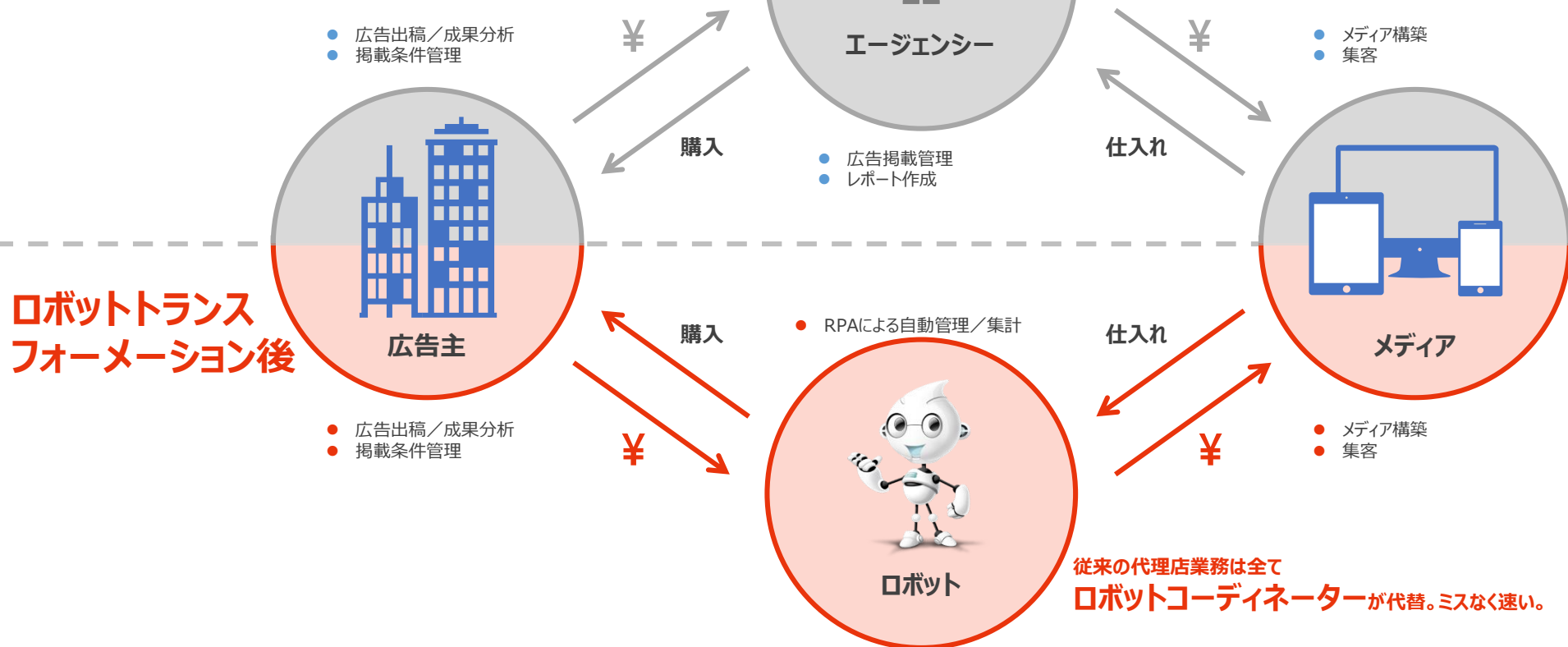


10年に及ぶロボット化のノウハウを集約化した方法論。汎用性が高く様々な業種に対して初日からベストプラクティスの展開が可能

ロボットトランスフォーメーションの具体例

- インターネット運用型広告市場は9,400億円と巨大な市場であるが、エージェンシー構造が残る非効率な業界構造
- ロボットコーディネーターでエージェンシーを代替することによりロボットトランスフォーメーションを実現

現在のアフィリエイトビジネス

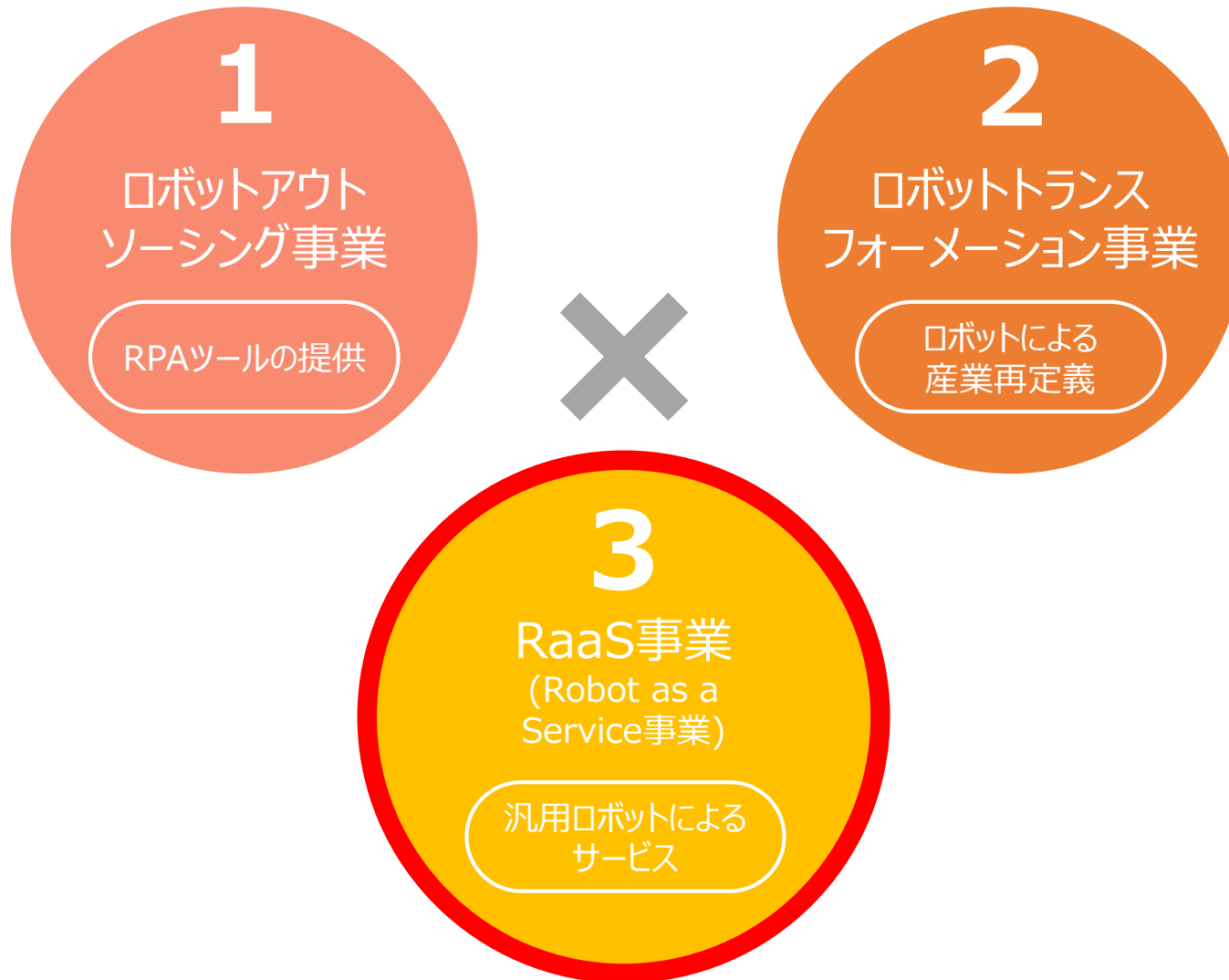




RaaS事業
更なる市場機会の拡大

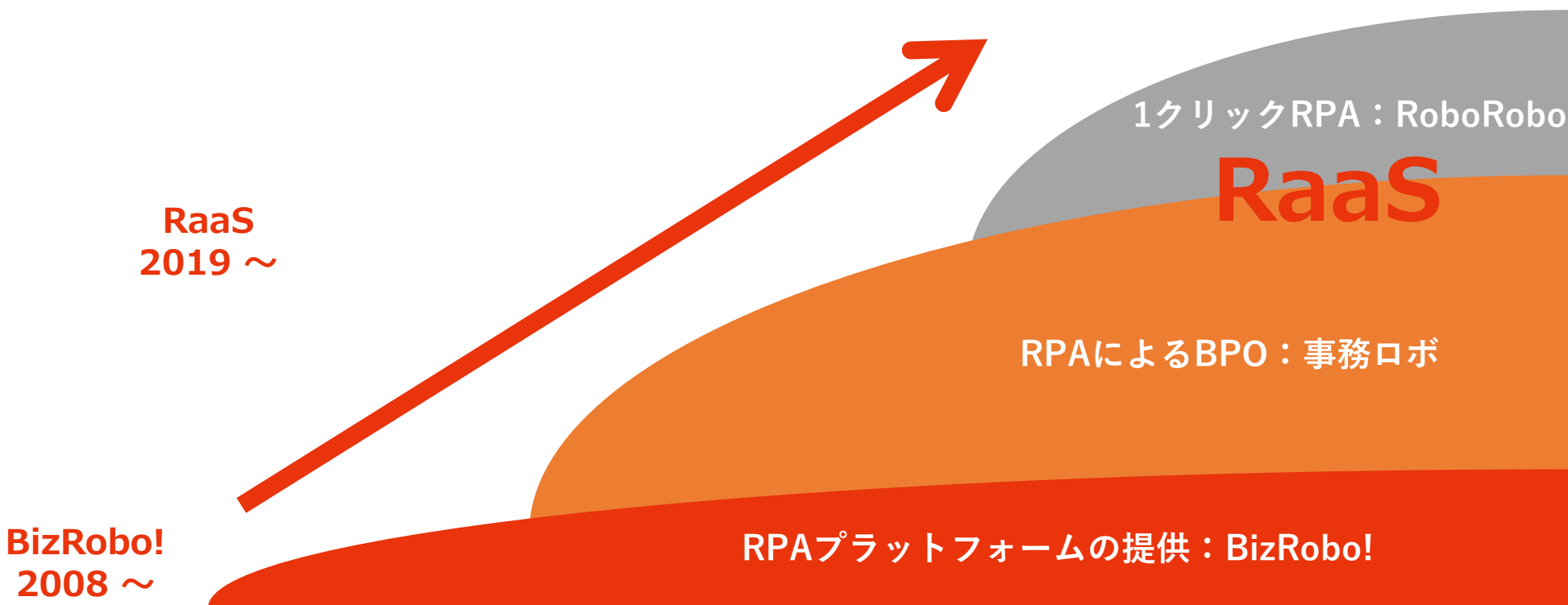
当社の成長戦略

- 拡大するRPA市場に加え、産業を再定義するロボットトランスフォーメーション事業、更にはRaaS (Robot as a Service) 事業の本格展開により更なる成長を実現



RaaS (Robot as a Service)事業の位置付け

- RPAプラットフォームの提供で培ったノウハウをベースとした拡大



- 汎用化・テンプレート化されたロボットを活用することで、幅広い企業に対して簡単に導入できるサービスを提供

RoboRobo 1クリックRPA

- ✓ 経費精算システム「楽楽精算」向け、RPAサービスの開発・連携。「RoboRobo 楽楽精算RPAパック」を提供開始
- ✓ コンプライアンスチェック自動化サービス「RoboRoboコンプライアンスチェック」提供開始。日本経済新聞社グループの（株）日本経済社と販売代理契約を締結
- ✓ 「RoboRobo与信チェックサービス」を提供開始
- ✓ 人事向けSaaS型プラットフォームサービス「jinjer」との共同サービス「jinjer RPA powered by RoboRobo」を提供開始

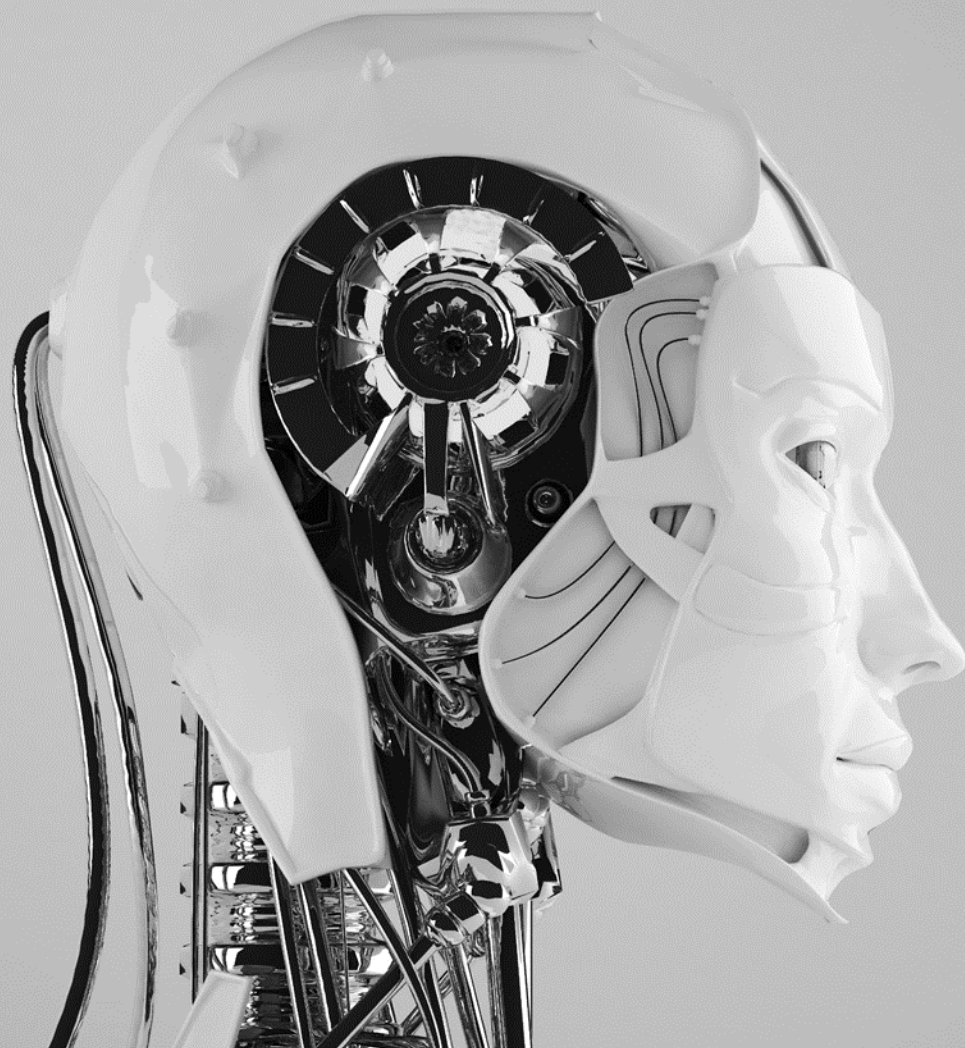
事務ロボ RPAによるBPO

- ✓ 事務ロボ（β版）リリース
- ✓ クラウド会計ソフト・人事労務freeeで活用可能なロボット提供開始
- ✓ 領収書/請求書ロボ提供開始
- ✓ 「愛媛県新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金申請書」手続き業務を支援

共通

業界固有の共通業務に特化

- 【医療業界】
 - ✓ 東京歯科大学市川総合病院が「BizRobo!」を導入
 - ✓ 慈恵大学と共同研究を実施
 - ✓ 社会医療法人宏潤会 大同病院が「BizRobo!」を活用開始
 - ✓ 滋賀医科大学医学部附属病院が部門ごと「BizRobo!」パイロット開発
- 【不動産業界】
 - ✓ 不動産業界向けRPA・AIサービスを提供する「株式会社 Re-Tech RaaS (リテックラース)」を設立



03 參考資料

連結PL実績

単位：百万円

	2020年2月期 Q1	2021年2月期 Q1	前期比
売上高	2,123	3,102	+46.1%
ロボットアウトソーシング事業	832	775	-6.8%
ロボットトランスフォーメーション事業	1,226	2,258	+84.2%
RaaS事業	12	5	-51.9%
その他	52	62	+19.0%
営業利益	169	118	-30.3%
営業利益率	8.0%	3.8%	-
親会社株主に帰属する当期純利益	51	28	-44.3%
親会社株主に帰属する当期純利益率	2.4%	0.9%	-

セグメント情報（2021/2期 第1四半期）

単位：百万円

	ロボット アウトソーシング 事業	ロボット トランスフォーメーション 事業	RaaS 事業	合計	その他	調整額	連結
売上高	777	2,260	22	3,060	70	△28	3,102
外部顧客への売上	775	2,258	5	3,040	62	-	3,102
セグメント間の内部売上高又は振替高	2	1	16	20	7	△28	-
セグメント利益	72	227	△89	210	△0	△91	118
セグメント利益率	9.3%	10.1%		6.9%			3.8%

連結BS増減比較

単位：百万円

	2020年2月期	2021年2月期 Q1末	増減
流動資産	14,323	14,602	278
現金及び預金	12,394	12,644	250
固定資産	3,704	3,786	82
資産合計	18,028	18,389	361
流動負債	3,099	3,589	490
固定負債	1,822	1,664	△158
負債合計	4,921	5,253	332
(有利子負債)	3,259	3,098	△161
資本金	5,881	5,881	-
資本剰余金	6,017	6,017	-
利益剰余金	1,201	1,230	28
純資産合計	13,106	13,135	28

会社概要

人とロボットが協調して働く新しい社会を創る ロボットトランスフォーメーションにより産業を再定義する



インターネット以前

FY1998

インターネット (ブロードバンド) トランスフォーメーション

証券会社、旅行代理店、
通販、電話 (Skype)、
音楽業界などが再定義

FY2008



モバイル トランスフォーメーション

ゲーム業界 (特にコンソール)、
カーナビ、タクシー、
ホテル、決済などが再定義

FY2018

AI・ロボット トランスフォーメーション

RPAとAIによって、プラットフォームから
コーディネートへシフトし、あらゆる産業
が再定義される



デジタルイゼーションへのロングジャーニー

会社概要

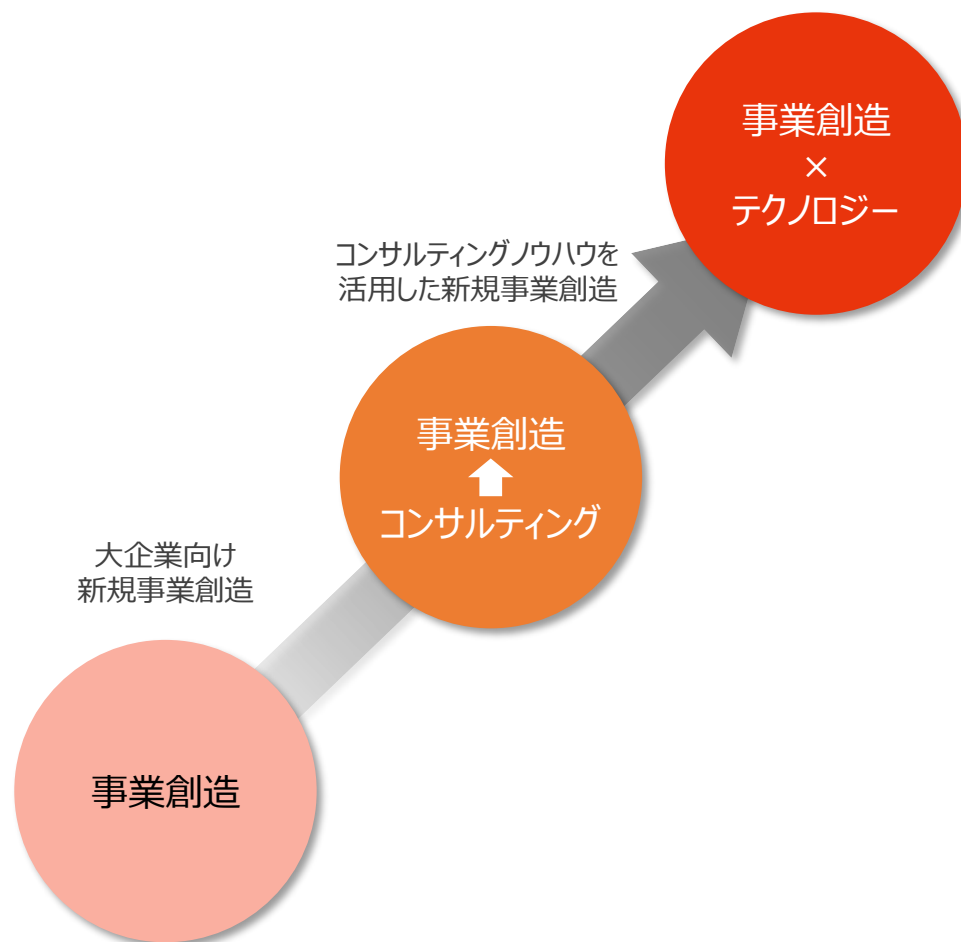
社名	RPAホールディングス株式会社 RPA Holdings, Inc. (英訳名)	
設立	2000年4月	
資本金	5,881,796,555円 (2020年2月末現在)	
所在地	東京都港区虎ノ門1-23-1 虎ノ門ヒルズ 森タワー8F	
役員	代表取締役 取締役 取締役 社外取締役 取締役 (監査等委員) 取締役 (監査等委員) 取締役 (監査等委員) 取締役 (監査等委員)	高橋 知道 大角 暢之 松井 哲史 西木 隆 増田 吉彦 羽入 敏祐 永井 栄一 高橋 秀明
事業内容	純粋持ち株会社	
グループ会社	RPAテクノロジーズ株式会社 RPAエンジニアリング株式会社 株式会社セグメント オープンアソシエイツ株式会社 リーグル株式会社 株式会社ディレクト 株式会社RPA BANK	

ミッション

RPA
HOLDINGS

知恵とテクノロジーで新しい事業を創造する

テクノロジー = RPAという
武器を活用した事業創造



「RPA」中心の事業構造

ロボットアウトソーシング事業

- 金融、製造など幅広い業界の企業に、主力製品であるデジタルレイバー作成プラットフォーム「BizRobo!」等のRPAソリューションを提供、国内RPA分野のリーディングカンパニーとして認知

ロボットランスフォーメーション事業

- 旧「アドネットワーク事業」。ロボットランスフォーメーションにより既存産業の再定義を図る
- PRESCO事業の運営及び、広告領域におけるデジタルレイバーサービスを展開

RaaS事業

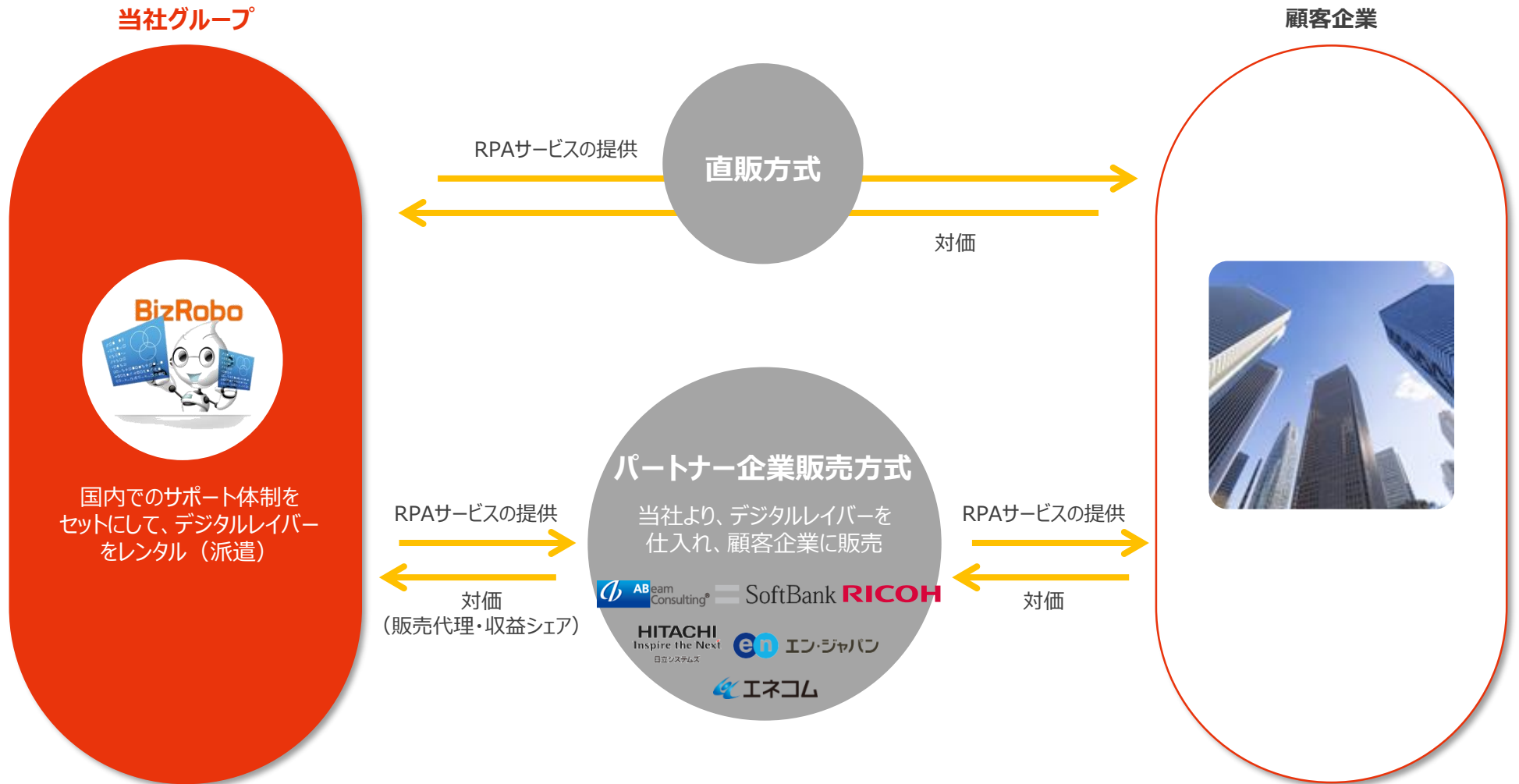
- 汎用化・テンプレート化されたロボットを活用することで、幅広い企業に対して簡単に導入できるサービスを提供

- セールスアウトソーシング事業

その他事業

ロボットアウトソーシング事業概要

- 様々なRPAソフトウェアベンダーより、ソフトウェアライセンスを仕入れ、直販及びパートナー企業による販売方式によりRPAを導入
- きめ細かなサポートを求めるニーズが強い日本の顧客企業に合わせた国内でのサポート体制を提供



ロボットトランスフォーメーション事業概要①

- ロボットトランスフォーメーションにより全く新しい顧客体験を提供
- アドネットワーク事業からロボットトランスフォーメーション事業へ名称変更

既存産業



RPA・AIによる産業の再定義



- ロボットトランスフォーメーションを実現するための強力なツールを自社で保有し、独自の метод論と合わせて様々なパートナーと協業することで、あらゆる産業の再定義を図る

RPA及びノウハウの提供

ビズロボ



リサーチ、レポート作成、簡易分析、
その他バックオフィス業務を自動化

コグニティブ及びノウハウの提供

スキャンロボ



非構造化データ（手書き書類など）
を構造化データへ

AI及びノウハウの提供

AIROボ



コーディネーション（提案、リアル
タイムプライシングなど）

- ✓ 時間がかかる非生産的なルーチン業務から人間を開放
- ✓ より付加価値の高い業務に時間を割くことが可能に
- ✓ 手書き文字の読み取りや認証（顔など）を自動化。人間しかできなかった判断を自動化することでより一層の効率化を実現
- ✓ 大量の選択肢の中から、リアルタイムで最適な選択肢を提案しコーディネート可能

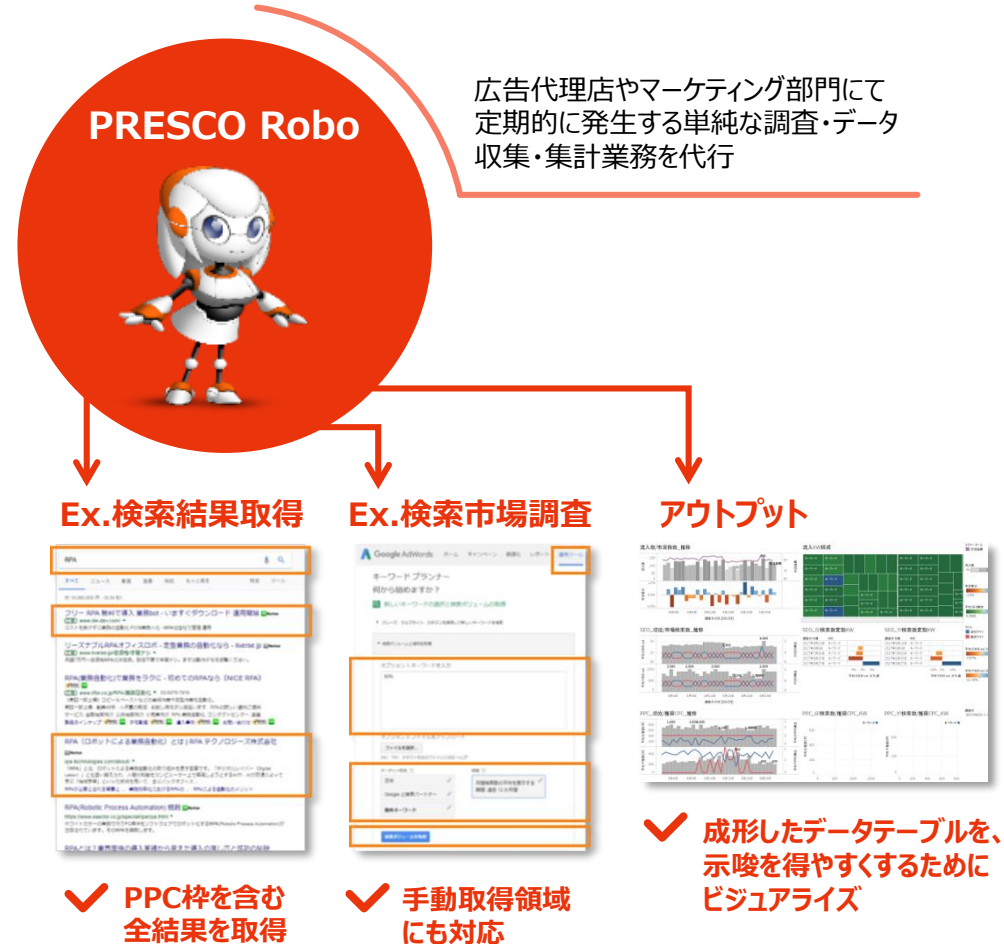
- ロボットトランスフォーメーション事業における最初の領域。成果報酬型プロモーション（アフィリエイト）を軸としたサービスを展開
- オンライン広告業界を対象に、データ収集・集計・レポート業務の代行する「PRESCO Robo」のサービスを展開
- 前期までは医療系人材領域に特化し、徹底的なロボット化を推進。今期よりロボット化したサービスを他領域にも展開開始

01 ワンストップサービスの提供

アフィリエイトサービスと合わせて、LP企画制作、マーケティングレポート分析、SEM等、アフィリエイトサービスに付随するサービスをワンストップで提供

02 強力なネットワークの活用

アフィリエイト法人、一般ブロガー、有名アフェリエーターとの強固なネットワークを保有しており、幅広いネットワークと連携した新たな媒体開発の提案も可能



将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。